

【 概 要 】

2013年度 民間住宅ローン利用者の実態調査 【フラット35利用者編】(第3回)

I 調査の概要

調査対象期間(2013年11月～2014年2月)に民間住宅ローン(フラット35を含む。)の借入れをされた方を対象とし、利用した住宅ローンの金利タイプや住宅ローン選びに関する事項について、インターネットによるアンケート調査を実施し、そのうちフラット35利用者についての結果を取りまとめたものである。(回答数:164件)

II 調査結果の主なポイント

※<>は、本調査結果の詳細資料中の該当ページ

1 フラット35を知るきっかけは、「新聞記事」が最も多い<p.2>

- ・フラット35を知るきっかけは、「新聞記事」(18.9%)が最も多く、次いで「インターネット」(17.1%)、「住宅・販売事業者」(16.5%)となっている。フラット35以外の住宅ローンを利用された方と比較すると、「新聞記事」、「住宅情報誌」、「折込チラシ」、「雑誌」、「新聞広告」等の影響が大きい。

2 インターネットで収集した住宅関連情報は、「購入(建設)を検討する物件情報(評判)」が最も多い<p.4>

- ・インターネットで収集した住宅関連情報は、「購入(建設)を検討する物件情報(評判)」(60.7%)が最も多く、次いで「資金計画に関するシミュレーション」(57.1%)である。

3 フラット35を利用した理由は、「金利上昇に備えて将来の返済額を確定」が最も多い<p.5>

- ・フラット35を利用した理由は、「金利上昇に備えて将来の返済額を確定」(47.0%)が最も多く、次いで「金利が低い」(42.1%)、「建物の審査がある」(20.1%)となっている。